



広げよう「友好と奉仕」の輪

会長 西井 勝明

人類に奉仕するロータリー

本日は 第3006回 例会
プログラム
地区国際奉仕事業について
No.2819 11月24日(木)

次週以降の予定
12月1日(木)年次総会
12月8日(木)忘年会(夜間)
12月15日(木)子どもシェルター レラピリカについて

第3005回 例会報告

2016年 11月17日(木)

副会長挨拶



赤平において、このグループの会長幹事会が行われました。すでにご案内の通り、会長幹事会では地区大会の決議で決議されました事柄につきまして話し合いました。各クラブの意見を聞きまして、ガバナー補佐がその結論を言うという形で話し合ってみましたけれど、問題はグループの合同という話です。第1グループと第2グループが、我々の矢面に立っていることなんですけども、もし芦別の方が羽幌までガバナー補佐としていく場合には、凡そ行きかえりに7時間くらいかかる。会議に出ると1時間半くらいかかりますので丸一日の仕事になってしまって、ひとつのクラブに4回ガバナー補佐がいかなければいけないことになっています。今の状況では羽幌、留萌、深川、妹背牛と第1グループには4つクラブがありますので、妹背牛、深川は近いにしてもかなりの行き帰り特に冬の間羽幌に行けと言われたら、しり込みしてしまうと思うんですね。逆ですけど、大変危険な目に合う可能性もありますし、労災にかかっているわけでもないし、何も保証はないわけです。第2グループとしては多数決の結果、大多数が反対という意見だったんですけども、反対決議には反対である。ただし、この決議はですね、私の参考意見を取り上げてくれまして、対象となるグループの採決をしてもらいたい。第4第5グループのように札幌をはじめとする、あまり遠くないところで集まっているグループはあまり問題ない訳ですから、それに多数決で加わるとガバナーの言う通りだということになってしまうと思いますので、そういうことを除いて、採決をいったんしてもらいたいという風に、お願いしておきました。

幹事報告



①. 赤平RCより会報、ほほえみ工房より工房通信が届いています。
②. 滝川国際交流協会より平成28年度世界を知る講演会の案内がありました。事前の申し込みが必要なため、出席を希望される方は事務局へご連絡ください。
③. 12月1日は第12回の理事会と第4回のクラブ協議会です。本日も案内を該当の方に送ります。下期活動計画、例会あるいは事業をお持ちの委員長さんにおかれましては、下期の活動計画を出していただくこととなります。

11月29日までに事務局にメール又はファクスで出してください。
④. 12月1日例会前に臨時の理事会を開催します。理事・役員の方々は12時から開催しますのでお集まりいただきたい。

ロータリーの友誌紹介

ロータリーの友誌委員会より報告がありました。

委員会・同好会報告

親睦活動委員会

- 11月の祝福
- 木曜フォーラムの案内、18時、ピアス、講師は坂本幹事
- 12月8日18時 忘年会、ホテルスエヒロ

麻雀同好会

大会の日取りは、12月15日です。6時から食事、6時半試合開始、会費3,000円、締め切りは12月1日。お酒が出ます。



【社会奉仕委員会担当例会】

— 講師卓話 —



社会奉仕委員会 神部 俊克 委員長

本日は、「シーニックバイウェイ」についてということで、講師は藤井美智子様です。

今、空知においてもこの取り組みが始まっております。その取り組みにおいて、藤井様には絶大なお力添えをいただいているところでございます。今、多様な形での広域連携が求められている中で、このシーニックバイウェイというのは、今後の空知滝川市の経済発展のためには、経済を活性化する一助となる取り組みだと、私は感じておりますので、是非今日を機会に皆様のご協力ご理解を得られたら幸いです。

「シーニックバイウェイについて」



社団法人北海道開発技術センター
企画部地域政策研究室

藤井 美智子 様

ご紹介いただきました、北海道開発技術センターの藤井と申します。

今、神部さんからご紹介ありましたが、2005年から、この「シーニックバイウェイ」の取り組

みにお手伝いさせていただきます、今日はシーニックバイウェイの制度の概要と実際に全道でどんな活動をされているのかということをご紹介させていただきますと思います。

「シーニックバイウェイ」という言葉は耳慣れないと思いますが、風景の良いという「シーニック」、これが映画のワンシーンというところのシーンの形容詞になっております。あわせて「バイウェイ」というのが、脇道寄り道という意味になっております。風景の良い場所を、脇道寄り道で楽しんで行きながら、地域を回ってもらいたいという造語になっております。

シーニックバイウェイにつきましては、アメリカで始まった制度になっておりまして、2005年に始まったとお話ししましたが、2003年から2年間こういった制度をどうしたら良いかと検討があり、その際にこの名前をそのままシーニックとアメリカのもってきてやるか、日本名にするか色々検討されました。その時に地域の方々が愛着とか誇りをもって、地域全体のホスピタリティを向上していこうみたいな、といったあの当時、そういった概念を表すような日本語が中々なかったということと、このバイウェイという寄り道っていうところがすごく大切だということでこの名前が使われることになりました。さらに、10年前の人は凄いなと思うんですけど、今アジアの方たくさん来ていますが、こういった外国の方に将来的に来ていただきたいということで、英語名に拘ってシーニックバイウェイという名前が付きまして。

実は、今になってもシーニックバイウェイはわかりにくいという風に使われていますが、今の外国人の皆さんの誘客につきましては、少し役立っているんじゃないかと思っています。こちらの制度なんですけど、道がきっかけということで、道が重要な役割を担っています。こちら、地域の人々が主役というところは、メインになっております。行政や地域の皆さんが企業の皆さんと連携しながら広域的に、美しい景観づくりと、活力ある地域づくりと、あと魅力ある観光空間づくりと、こちらが3本柱になっておりまして、愛直と誇りの持てる地域を実現するという取り組みになっております。

先ほども申しましたが、1990年代、クリントン政権の時にアメリカで生まれた制度になります。日本独自の仕組を2003年から2年間、検討しましてこちらの3本柱で制度が開始されました。こういった形になっているかと申しますと、この3本の景観・地域・観光という3つが、地域の中でも循環するし、広域でも循環するといったところを目指しています。例えば、美しい景観に農村景観に観光客が訪れるのですが、そういった観光の資源というのは農家さんがそこで持続的にきちんと生活しないと守れないし、そういったところをきちんと地域の中で循環していくというところを取り入れた取り組みになってます。

先ほどシーニックの三本柱の話をして頂いたのですが、景観づくりというのはどういふことを実際にできるかというところ、こちらは沿道の清掃や植栽なんですけど、小学校と道路管理者フラワーマスターの皆さんが連携して、実施しています。もともとオレンジの活動団体というところの方々が始めたんですが、今では、国道市高速道路の皆さんも繋がって大きな取り組みに発展しています。

魅力ある観光づくりということで、3本目の観光の柱なんですけど、シーニックバイウェイでは、景観の良いところに、カフェ、デッキを置く取り組みがございます。

地域が元気になるビジネスチャンスを作ろうと行くことで、色んな取り組みあるんですが、続けていくには資金がいるし、地域のことをどういう風にビジネスチャンスにつなげていくのかということをご皆さん考えています。

先ほども出した表なんですけど、お気づきになることありますでしょうか。実は、空白の地域がありまして、空知シーニックバイウェイがここでつながると、旭川から札幌までもっと楽しくなる生んでないかと個人的に思っています。

最後に、空知のシーニックバイウェイの可能性を考えるということも入っている、地域創生フォーラムが11月28日に開催されます。お時間ある方は是非ご参加いただけたらと思います。ご清聴ありがとうございます。



畠山かおる会員

3004回担当例会無事終了しました。ありがとうございます。

神部 俊克会員

担当例会を終えて。

会長／西井 勝明
幹事／坂本 和繁
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。